

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されています。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名まで2人、それ以上の児童が増える際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員を配置しております。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		玄関前に見守りスペースがあり、必要時は手をつなぐなどして安全に配慮しております。また、事業所内は段差はなくバリアフリーとなっており、それぞれの活動に取り組みスペースを視覚的にも理解しやすい配置の工夫に取り組みしております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		常時、空気清浄機稼働させ衛生的にも清潔で過ごしやすい環境作りをおこなっております。また、児童が過ごしやすいうように活動のスペースを広く設置し、様々な活動に取り組みできるように工夫しております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		児童の状況や状態に応じて使用することができ個室を設置しております。必要に応じて個室での対応や余暇活動など様々な場面で使用しております。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	8		日々朝礼、昼礼をおこないながら、必要な伝達事項を共有しております。打ち合わせの中で日々の支援の振り返りもおこない、支援目標にあわせた支援の提供を心がけております。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者様のご意見、ご要望を伺いながら、それに対する対策を計画し、口頭で職員全員へ周知し、職員一人ひとりが意識して業務改善につなげております。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		日々の打ち合わせや毎月実施する業務改善についての話し合いの機会を設けております。話し合いの中で職員の意見を共有しながら、事業所としての課題点、改善策を検討し業務改善に努めております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や社内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		外部で実施される研修への参加、社内での全職員参加での研修等を通して職員一人ひとりの資質向上の機会を設けております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		事業所の公式Webにて公表しております。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		保護者様との面談をもとにアセスメントをおこなっております。面談の中で児童・保護者様のニーズや課題を丁寧に聞き取りながら支援計画を作成しております。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		支援計画の作成においては支援計画会議をおこなう中で情報の共有をおこなっております。日々の支援の中での課題や変化を細かく共有をおこないながら支援目標の検討をおこなっております。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画会議の中で児童一人ひとりの支援目標の共有をおこなっております。また、定期的に支援目標や課題の進捗をおこなうながら計画に沿った支援の提供を心がけております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		標準化されたアセスメントツールを用いて児童の状況把握や課題の抽出をおこない、支援の向上に努めております。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		保護者様のニーズや要望をお聞きした上でガイドラインに沿って必要な項目に対し具体的な支援や計画の作成を心がけております。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		職員で話し合いをおこないながら様々な職種、視点からの活動を提供できるように工夫しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		個別活動、集団活動、季節行事等のそれぞれの特色を生かした活動を取り入れながら年間を通してさまざまな活動をおこなっております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		児童一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別、集団での活動を取り入れながら、保護者様のニーズや要望に沿った支援計画を作成し、支援させていただいております。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		日々、朝礼、昼礼をおこないながら一日の予定の確認、情報の共有、役割分担等の確認をおこない連携した支援の提供を心がけております。		
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		支援終了後にはその日おこなったことや、共有が必要な事項について振り返りをおこなっております。また、当日の共有を難しき職員には翌日の朝礼、昼礼の際に共有をおこなっております。		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の支援に関しては療育の内容、児童の様子など必ず記録を残しております。記録をもとに支援内容の改善を図り、職員間での情報共有をおこなっております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的（6か月以内）に必ずモニタリングを実施しております。モニタリングをおこなう中で現状の把握をおこないながら支援内容や支援目標の見直しをおこなっております。		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		放課後等デイサービスガイドラインに示されている、「自立支援と日常生活の充実のための活動」「多様な遊びや体験活動」「地域交流の活動」「こどもが主体的に参画できる活動」を組み合わせた支援を心掛けております。		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	8		支援の中では、前提として、児童がやるべきことをおこないながら、その他にも興味を示すことや、やってみたいと思うことを取り入れ、自己決定を促して支援をおこなうことを心掛けております。		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	8		担当者会議やその他関係機関との情報共有の場には児童発達支援管理責任者のみならず、普段支援にあたる職員も出席する機会を作りながら参加しております。		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		関係機関と積極的に情報共有、相談をおこないながら連携した支援を提供するように心がけております。		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		学校との情報共有は積極的にしておこなっております。特に送迎時のトラブル等が発生しないよう、連絡調整をおこない、確認をおこなうようにしております。		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		必要に応じて電話や訪問での情報共有をおこないながら支援内容や活動内容の共有、相互理解に努めております。		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		現在、対象となる児童が在籍しておりません。	今後該当となる児童がいる場合は情報共有をおこなってまいります。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		感染症等の観点より必要に応じて児童についての情報共有を職員同士におこなっております。また、年間の共有が難しい場合は支援中の写真共有したりするなど工夫し、共通理解を深めております。	今後も積極的に連携を取りながら、他事業所との連携や助言をいただく機会を設けていけるように検討してまいります。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		感染症等の観点より放課後児童クラブや児童館、地域の他のこどもの外部交流の機会は設けることができません。	今後は感染症等の状況も踏まえながら、必要に応じて交流機会を設けていけるよう、検討してまいります。	
	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	8		開催の案内があった際には、児童発達支援管理責任者を中心に、可能な限り参加しております。また、会議開催後は協議会等会議議事録や関係書類の送付をいたさき情報共有に努めております。		
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日々の支援内容は利用ごとに保護者様へお伝えしております。また、送迎の際にその日の様子をお伝えしたり、対面での共有が難しい場合は支援中の写真共有したりするなど工夫し、共通理解を深めております。		
	35 家族の対応力向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等が参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。	8		保護者様向けの研修会等は実施できておりません。事業所にて、保護者様のお悩みごとを拝聴し、児童への関わり方等について助言や支援をおこなっております。	今後は保護者様の気持ちに寄り添い、ご要望がありましたら情報提供ができるよう検討してまいります。	
	保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に運営規定や支援プログラム、利用者負担等については丁寧な説明を心がけております。また、契約後も不明な点があればその都度お尋ねいただき説明をおこなっております。	
		37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	
		38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		支援計画の同意を頂く際は作成した支援計画を保護者様に確認していただきながら説明をおこなっております。	
		39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要に応じて支援を行っているか。	8		6か月に一度おこなっているモニタリングの際に保護者様の悩み事や相談事を伺いながら助言をおこなったり、支援方法の検討をおこなっております。また、その他にも保護者様からの相談内容においていつでも対応可能なため、必要に応じてお電話や面談での支援をおこなっております。	
		40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		現時点では、父母の会を開催することができておりません。	保護者会等の開催につきましては保護者様の意向に沿って今後も検討してまいります。
41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		8		利用児童や保護者様からのご相談や申し入れに関しては迅速な対応を心がけております。送迎の際などにお話を伺いながら相談内容等を把握、共有し対応をおこなっております。		
42 定期的に遊信等を行ったり、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		8		日々の活動内容や行事イベント、遊覧訓練等の情報を定期的に発信しております。また、公式Webサイトでもブログ形式で支援の様子を公開しております。		
43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。		8		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。		
44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		8		利用児童や保護者様のご意向を確認したうえで、ご要望に沿った配慮、支援を心がけております。		
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		現時点では、地域住民を招待する等の活動は開催することができておりません。	開催につきましては保護者様の意向に沿って今後も検討してまいります。	
非常時等の対応		46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		保護者様がいつでもご確認いただけるよう事業所入り口付近に各種マニュアルを設置しております。また、年間を通して感染症発生を想定した訓練を計画的におこなっております。	
		47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画を策定し、計画に沿って避難訓練等をおこなっております。	
		48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	8		事業所契約時に聞き取りにて服薬の有無などの確認をおこなっております。契約後に変更があればその都度最新の情報をいただきながら、状況の把握をおこなっております。	
		49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	8		定期的に確認をおこないながら、全職員で共有をおこない児童への対応をおこなっております。	
		50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成し、定期的に事業所内での研修や訓練をおこなっております。また、事業所内の不備や危険箇所の有無についても定期的に確認をおこないながら安全管理をおこなっております。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づき取組内容について、家族等に周知しているか。	8		災害等が発生した際の避難場所や避難方法、連絡先については保護者様へ案内をおこなっております。		
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットが発生した際には記録を残し、職員間で周知し再発防止に向けた検討をおこなっております。		
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		事業所内での研修やセルフチェックを定期的におこなうなど虐待防止に努めております。		
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		利用契約書に原則として身体拘束をおこなわない旨を記載しております。生命または身体の保護のためにやむを得ず必要となる場合には、事前に十分な説明をおこない、保護者様の承諾を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載して対応してまいります。		

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。